

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 奈良市立二名中学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒631-0072

E-mail nimyou-j@naracity.ed.jp

Website _____

幼児児童生徒数 男子 267 名 女子 229 名 合計 496 名

幼児・児童・生徒の年齢 13 歳～15 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校は「人権尊重に徹し、確かな学力を持つ、健康的で心豊かな生徒の育成」を研究テーマに、E S D を持続可能な社会を担うための価値観を育む教育と捉え、変化の激しい社会を生き抜く力の育成と地域との連携を密にし、地域コミュニティ全体の持続可能性へとつながる教育活動を行っている。

① キャリア教育に係わる活動

現代を生きる生徒たち、将来、社会的職業的に自立し、混沌とした社会の中で、自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力が求められている。本校ではこれまで、地域の方々の協力を得て、ゲストティチャーとして働く喜びや意義等の仕事現場の「生」の声を聞く機会を持ってきた。2 学期の職場体験学習とつなげる大切な行事である。本年度はゲストティチャーの授業と職場体験学習の集大成として、キャリア教育ポスターセッションの取り組みを実施した。クラス発表会、学年発表会を実施し、3 名の代表者を決めた。2 月 10 日に奈良市キャリア教育ポスターセッションに参加し、地域の方々の前で発表した。様々な方々にお世話になった 3 日間の経験を生かす絶好の機会となった。

② 世界遺産学習に係わる教育

1年生の11月に、東大寺、東大寺ミュージアム、興福寺、興福寺国宝館を訪れる。世界遺産の良さを深く学ぶために小グループによる英語ガイド活動に取り組んで6年になる。奈良を訪れる外国の観光客の方々に、地元奈良の良さを英語で伝え、旅の安全を願い、折り鶴をプレゼントする。「君たちは日本で、しかも奈良に住んでいていいね。」こんな感想を異文化の方々から伝えてもらった時、生徒たちは、奈良の良さを再認識する事ができる。

この活動には、地域の方々の協力が欠かせない。二名中学校区地域コーディネーターの方々、二名公民館、奈良ガイドクラブ、天理大学国際学部のスタッフである。

③ いじめ防止に係わる学習

いじめは重大な人権侵害であり、どのような理由があっても許してはならない問題である。本校では、いじめを起こさせないための全校体制の取組を実施している。ハーパーQ Uを年2回実施し、そのアセスメントによる教師間の情報共有を行った。さらに、生徒会本部による「ストップいじめ、なら子どもサミット」への参加し、いじめ問題について中学生同士が交流する機会を持った。

④ 地域防災に係わる学習

本年度生徒会本部は、「人・仁・心」をテーマに、人とのつながりの大切さを意識した活動を始めている。また、平成29年度も「二名中校区さわやかクリーンデー」で豚汁づくりに取り組んだ。平成28年度校区の2小学校でも「かまど型ベンチ」が設置され、小中一貫教育と一体化した取り組みとなった。また、平成29年度校区の2小学校で実施された防災活動に、中学生が参加した。

地域の方々との交流によって、地域防災の担い手としての中学生への期待を実感した。



① キャリア教育ポスターセッション



② 世界遺産学習英語ガイド活動



③ ストップいじめ、なら子どもサミット



④ さわやかクリーンデー

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

ESD (持続可能な開発のための教育) 推進の手引き (初版) ユネスコスクール公式ウェブサイト・教材ルーム

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ESDという用語を特に意識せず、学習指導要領に盛り込まれている持続可能な社会の構築に関わる視点を踏まえ、教育課程を編成し、以下の4つの活動に取り組んでいる。

- 1 英語科教育とリンクした世界遺産学習英語ガイド活動
- 2 職場体験学習を深めるキャリア教育ポスターセッション
- 3 生徒会活動を中心とした「つながり」を深める活動
- 4 地域とつながる防災活動

以上4つに関わって、全ての活動を生徒自身が地域に足を運び、地域の方々と共に実施している。地域で見つけた変化を国際的な視点に結びつけ、現代社会の課題を自らの問題としてとらえ、身近なところから取り組むことにより、新たな価値観や行動を生み出すことを重視している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

例えば、世界遺産英語ガイドには、のべ23名の英語ボランティアの方に協力いただいている。そのキーパーソンは、二名公民館の方である。事前学習としての英語のインタビュー練習や、そのための学校との連絡調整をしていただいている。また、11月の英語ガイド活動当日には、ボランティア方々への弁当の手配まで担っていただいている。学校としては、4月当初の学年校務分掌決定の際、世界遺産学習英語ガイド活動の担当者を決め、引き継ぎ文書を手渡すのみである。ネットワークづくりが大切である。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校評価のアンケートの生徒用、保護者用共に世界遺産学習への取組について、良好な評価をいただいている。また、キャリア教育については、本年度初めて実施したキャリア教育ポスターセッションについて、生徒の興味や関心の度合いが高く、工夫した発表ができた。2月10日に実施された奈良市キャリア教育ポスターセッションには、地域から多くの方々に参加いただき、本校生徒の発表に耳を傾けていただいた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

平成28年度第8回ユネスコスクール全国大会・持続可能な開発のための教育(ESD)研究大会において発表する機会を得た。テーマ別交流研修会第4分科会において、地域連携(中高)をテーマに本校の取組を紹介した。当日約50の団体の代表の方々と出会い、意見交換することができた。その後も、交流が続いている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

世界遺産学習英語ガイド活動には、二名公民館を通して、2つの団体に協力いただいている。天理大学国際関係学部と奈良外国語ガイドクラブである。事前学習である英語インタビュー練習の際には12名の方。当日の英語ガイド活動の日には、11名の方により実施している。その際、今年が7年目となるこの活動が、本校生徒が主体となって、英語が多様性を結びつけるきわめて有効なツールであることを認識し、実感していく過程を見つけていくことができることに、意義を感じていただいている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

隣接する二名小学校がユネスコスクールであること。また、奈良市小中一貫教育の一環として、同じ校区の青和小学校との連携・協力関係を重視している。年間を通して、教師同士による二名中校区小中一貫教育合同研修会、小6生と中学生が交流する1日体験入学、校区の教員と地域の方々の懇話会などを実施している。本中学校校区地域教育協議会の方々のネットワークづくりに取り組んでいる。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

ESDの効果は、生徒の内発性に現れる。そのためには、知識やノウハウを提供することで、生徒に特定の答えを教えることよりも、生徒自身が主体的に多様な答えを探求することを追求した学習を展開することが大切である。そういった空気が、授業だけでなく、学校行事や生徒会活動、放課後の部活動に流れている事がとても重要である。本年度生徒会本部が、国境なき医師団から依頼を受けた募金活動に自ら参加し、感謝状を授与された。学校にとっての誇りである。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

4～7月

キャリア教育推進事業・・・ゲストティーチャーから学ぶ
教育環境整備事業・・・地域の方々との花植え

9～12月

世界遺産学習・・・インタビュー練習
英語ガイド活動

キャリア教育推進事業・・・職場体験学習

地域防災活動・・・二名自主防災活動に参加
青和自主防災活動に参加

二名中校区地域教育協議会・・・さわやかクリーンデイに参加

1～3月

キャリア教育推進事業・・・キャリア教育ポスターセッション

人権教育教育・・・ストップいじめ、なら子どもサミット